

ブラック・ジャックみたいだね

中学生が外科医体験

製鉄記念室蘭病院セミナー



内視鏡トレーニングにチャレンジする生徒たち

ブラック・ジャックセミナー(製鉄記念室蘭病院、ジョンソン・エンド・ジョンソン共催)が12日、室蘭市知利別町の同院で開かれた。室蘭、登別両市の中学生が、超音波メスを使った剥離などに挑戦し、外科医の業務の一端に触れていた。

1、2年生の17人が参加。講師の同院外科医6人と研修医2人の指導を受けた。

生徒たちは、超音波メスを使って鶏肉を骨から切り取ったり、内視鏡トレーニングでは、モニターに映し出される映像を見ながら、専用の機械でサイコロやピーズをつかんだり、輪ゴムを画びょうに掛けたりする技術に挑戦。細かい作業に苦戦しながら、外科医の仕事を体験していた。

山谷翠さん(北海道登別明日中等教育学校1年生)は「日常では味わえないことばかり。勉強になります」と関心を高めていた。

(池田勇人)